

インタビュー

「高齢者の生活を支えるために」

漕代地区で取り組む買い物外出支援」

今、松阪市では地域で助け合いながら高齢者の暮らしを守るための取り組みが広がっています。その中でも、漕代地区では平成29年に「まかせて!!漕代支援隊」を発足し、漕代地区の住民が隊員となって高齢者世帯への支援を行っています。そして、令和元年6月には高齢者の買い物に同行して支援を行う「買い物外出支援サービス」が開始されました。今回は、「まかせて!!漕代支援隊」の取り組みについてお話を伺いました。



買い物外出支援の隊員(左)と利用者さん(右)

支援内容について
教えてください。

「まかせて!!漕代支援隊」のサービス内容には、草刈りや庭木の剪定、ごみや家具家電の処分などがあり、利用される方も増えてきています。しかし、買い物代行については、発足以来、1件も利用がありませんでした。「買い物は自分自身でお店に出向いて、品定めをして購入したい」という声があったため、買い物代行に代えて買い物外出支援を始める



まかせて!! 漕代支援隊
隊長の岡田さん(左)と
副隊長の村田さん(右)

ことになりました。隊員が自家用車で依頼人宅から近いスーパーへ送迎し、重いものを運ぶなどの支援を行います。

料金は店内での買い物時間のみで1時間500円(送迎時間は含まず)に設定しました。

県内でも数少ない活動ですが、
大変なことはありませんか?

自動車の運転には十分な安全への配慮や準備が必要で、ドライブレコーダーを取り付けたり、安全運転研修を受講したりしています。それでも、このサービスによって、助かったと喜んでもらえる人がいらつしやるのであれば、活動の意味は大きいと思います。「お互いさま」という助け合いの気持ち浸透している地域ですが、それにもう一歩進んだこ

実際に買い物外出支援を利用
された方にもお話を伺いました。

自動車運転免許を持っていないので、普段は歩いてスーパーに行つて買い物しています。食材を買うときはそれでもいいのですが、トイレトペーパーや油、洗剤など、かさばるものや重たいものを買いたいときには徒歩だと不便に感じていました。

そんな時に買い物外出支援を教えてくださいました。利用させてもらいました。買い物代行で届けてもらいうのもありがたいですが、やはり自分自身がお店まで行って買い物ができることがいいですね。コミュニティバスなどが利用できれば一番いいのですが、交通の便があまりよくないこの地域ではこのように助け合いをすることが大切なのかなと感じます。